

大人にも有益な読み物と思いますので、どうぞ参考になさってください。

少年・少女のための痛悔の手引き(2)

コルニリイ 西海枝 裕 訳

(3) 痛悔の準備をどのようにすればいいか

わたしたちの毎日の生活、考え方、行い、欲求、想像をハリストスの戒めの光に照らして評価し、自分の罪に気づかせて下さるように神に願う。たとえば、悪い行いを悔い、それを改める決心をして生活の向上に努めます。そしてわたしたちの心を究極の目標と生命の意味を考えることに専念させます。つまり神との交わりによる、神と偕にある永遠の生命のための救いに心を集中することが大切なのです。

(4) 最初の痛悔の特別の意味

初めての痛悔は、子供が自分の行いについて道義的な責任を果たすことができるようになったこと。そして善悪を見分ける神の戒めを実行できるようになったことを意味します。痛悔の準備がしつかりできれば、子供たちは次のことをいつも思い出すでしょう。

信者はいつとも正しい道を選び悪と戦い、そのすべての行動についての裁きを神の戒めに照らさねばならないことを。

(5) 両親はどうすれば子供の最初の痛悔の準備を手助けできるか

子供にかねらの生活について質問をすることによって手助けができます。たとえば祈禱について、他人に親切にしているか、わがままであつたり、言うことを聞かないことはないか、などです。また、家庭の中に平和で精神の集中できる環境を築くことによつて(テレビを置かない等)、福音書から選んだ箇所を子供とともに読んでみることによつて、子供が痛悔内容をまとめる手助けをすることなどです。次の数ページにわたつて子供のための痛悔機密の手引があります。これには聖書から選んだ句が含まれており、悔い改めと罪の赦しに関する現実の大切な態度を示すものです。そのほかに、痛悔の前と領聖前後に唱えられる祈禱文がのつています。最後に痛悔の準備と、痛悔の儀式そのものの実際の手引があります。みなさんは、みなさんの子供がこの資料を読み自分で痛悔の準備ができるようになるまで、その最初の痛悔とそれに続く痛悔の準備のための手助けをしてやってください。

(続く)